

佐倉市地域包括支援センター

地域包括支援センターは 高齢者の生活を支える身近な相談窓口です

介護予防をはじめ、介護保険、福祉、医療、
そのほか高齢者の人権や財産を守る権利擁護など、
専門の職員がご相談に応じます。
お気軽にご連絡ください。

佐倉市内の地域包括支援センター

- 佐倉市志津北部地域包括支援センター
佐倉市ユウカリが丘2-2-1
TEL 043-462-9531
- 佐倉市志津南部地域包括支援センター
佐倉市上志津1762-36
TEL 043-460-7700
- 佐倉市臼井・千代田地域包括支援センター
佐倉市王子台3-5-15
TEL 043-488-3731
- 佐倉市佐倉地域包括支援センター
佐倉市宮前3-12-1
TEL 043-488-5151
- 佐倉市南部地域包括支援センター
佐倉市大崎台4-2-1 クラッセ佐倉106
TEL 043-483-5520

相談受付：日曜日～金曜日 8:30～18:00
相談無料・申込不要



【立身流】

立身流(たつみりゅう)は戦国時代の武将立身三京により創始され、佐倉藩において伝承されてきた武道。刀術(居合・剣術)を表芸とし、佶(やわら)・鎗(やり)・長刀(なぎなた)・棒・四寸鉄刀(しゅりけん)など幅広い武器の操法ならびに心法を、創始時より原形をとどめたまま現在に継承されている数少ない流派で、現在千葉県無形文化財にも指定されています。

『向』(むこう)と『圓』(まるい)の二つの形を基に組み立てられた刀術は、一見単純素朴でありながら自由な変化を極め虚構を排したその動きは『動く禅』とも称されています。

『向』 正面の敵が頭上に斬りつけてきたとき、右鎧をもって受け流し、強打(こわうち)にて相手頭上を斬りおろす

『圓』 正面の敵が抜刀せんと柄に手を掛けたとき、先にその腕を斬り、更に強打(こわうち)にて相手頭上を斬りつける

『強打(こわうち)』 刀を頭上で大きく左旋回させ、刀の重みと遠心力を利用して、速さと強さを得ながら斬り落とす

【印旛沼】

鹿島川の河口にかかる飯野竜神橋付近からの夕陽の眺めは最高。周囲にはふるさと広場や野鳥の森、サイクリングロードなど、自然と楽しさがいっぱいです。



【風車】

市制40周年の平成6年春、佐倉ふるさと広場に本格的なオランダ製の風車が誕生。オランダ語で『友愛』を意味する「リーフデ」という名前がつけられています。



【佐倉朝日健康マラソン大会】

印旛沼周辺の自然の中を駆け抜ける爽快感と、都心から日帰りで参加できるフルマラソンとして人気の高い、全国屈指の大会です。

